
WORK
ヨロン島で、
ファミリーワーケーション
NEXTWEEKEND
編集部が
全社員で
実践してきました！
VACATION

ヨロン島で、
ファミリー
ワーケーション

FAMILY
WORK
VACATION









01

THINK ABOUT

ファミリーワーケーションとは？

近年よく耳にするようになったワーク（WORK）とバケーション（VACATION）を合わせたワーケーションという造語。
新しい働き方として興味があっても、どんな魅力があるのか分からないという方もいれば、
そもそも小さな子供がいる方にとっては机上の空論なのでは…？
そんな疑問を解決すべく、NEXTWEEKEND 編集部一同が、チームも家族も一丸となって
ヨロン島でのファミリーワーケーションを体験してきました！



プリシアリゾートヨロン

“ ずっとここで暮らしていたかのような、”
コンドミニアムでの生活



ハレルヤこども園

“ いつもとは全く違う日常体験、”
ヨロン島の、こども園に登園！



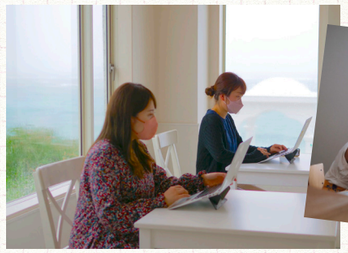


WORKCATION

わたしたちが体験しました！

今回ヨロン島を訪ねたのは、10 名の社員と 9 名の家族たち。
水着で泳げるような季節ではありませんでしたが、年間を通じて過ごしやすいヨロン島のおかげで
どのチームもとびきりの体験をすることができました。

10 a.m.



いつもとは違う仕事風景

ヨロンでの日々

いつもと同じパソコン作業や打ち合わせも、舞台がヨロンとなれば、次々と湧き出るアイデア…！
メンバーの新しい一面を見ることもできました。

Lunch time

突然始まるピクニックランチ



Afternoon

忘れられない初めての体験



Activity

深まっていく、チームの絆



第1便



第2便



第3便



NEXTWEEKEND とは

「季節の楽しみと小さな工夫で、理想の生活を叶える」をコンセプトに掲げるコミュニティメディア。
ウェブ、イベント、雑誌など様々な形で共感し合う読者同士をつなぎ、ファンとともに形を変え続けるメディアです。

GOOD EXPERIENCE

ヨロン島で叶えるファミリーアクティビティ

決して大きくはないヨロン島ですが、体験したいアクティビティは盛りだくさん。
子どもたちを園に送り午前中は仕事に集中したら、午後はめいっぱい遊ぶ時間！

01







02







03







04

ヨロンで獲れる魚は、
見たこともない
カラフルさ！

01 エイサー体験

先生にエイサーを習い、あっという間に子どもたちの発表会

02 草木染め

それぞれに好きな色を選んで、T シャツやバッグを草木染め

03 郷土料理教室

島のおばあから教わる郷土料理は、忘れられない味

04 魚の競り体験

子どもたちも大興奮の競り体験！朝早いので子ども園に行く前に今日のお魚をチェック！

05









06

草を編んで作る、
虫かごや竹トンボ

05 収穫体験

見たこともないフルーツにサトウキビ、なんとコーヒー豆まで！

06 工芸体験

おじいちゃんの家を訪ねたような懐かしさ。

07











08

Point

天気も変わりやすく飛行機を乗り継いで行く離島だからこそ、最低 3 日間は滞在するのがおすすめ！

07 グラスボード

大潮の干潮時だけ現れる白砂の島を目指してグラスボート。
ラッキーなことに、全チームがウミガメに遭遇することができました。

08 ビーチクリーン

漂着する軽石は自然の摂理とはいえ、真っ白な砂浜が黒くなっていく様子は悲しいもの。
子どもも一緒に除去活動！

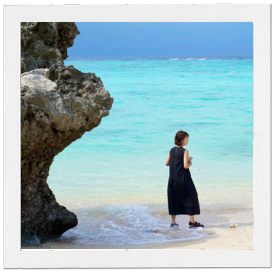
04

GOOD EXPERIENCE

ここがよかった！ ヨロン島のファミリーワーケーション

ライフステージも様々なNEXTWEEKEND編集部のメンバーが、それぞれによかったポイントを振り返ります。

社員の家族同士の絆が深まること







村上萌／NEXTWEEKEND代表

同行家族：夫・娘（4歳）

社員は日頃からチームで一緒に仕事をしていますが、お互いの家族はオンライン会議の後ろで挨拶する程度。でも、ヨロン島では毎朝同じ園へ登園し、食事をし、一緒に新しい生き物に出会って、と沢山の経験を共にしました。
最後の日には裸足で肩を組んで、「親友だ！」と大きな声で叫んでいる子供達の姿は一生の宝物になりました。それは大人も同じ。社員同士が、お互いの背景である家族という存在のことも信頼し尊重できることは、今後のチームワークにも大いに影響すると思っています。

信頼関係を築く、これからに必要な数日間







秀岡尚宏／総務

単身

リモートワークが増えて、どうしてもリアルでのコミュニケーションが少なくなってしまったことがずっと気になっていました。
今回久しぶりに濃い時間を一緒に過ごし、社員同士の仲がさらに深まったことを実感しています。家族も同行することで、普段とは違う一面を見ることができますし、日常に戻ってからもお互いを思いやれるような信頼関係を築くこともできました。私は単身での参加でしたが、帰る頃には全員がひとつの家族のような気持ちになったくらい…！
美しいヨロン島で、この貴重な体験をできたことは一生の思い出です。

0歳児と実現できたメリハリのある暮らし







畠間宏代／コンテンツプランナー

同行家族：息子（8ヶ月）

8ヶ月の息子を連れての参加。予測通りに動けないこともあるだろうと覚悟していましたが、息子を預けている数時間は集中し、一緒にいる間は共に過ごす仲間の手を借りて、自宅にいるよりメリハリのある暮らしが出来ました。
育休中ということもあり、久々に過ごす仲間との勤務時間は勘を取り戻す良い刺激になると共に、我が家の現状を把握してもらえるきっかけに。
息子の成長に合わせて見せたい景色・体験が充実しているので、家族で毎年帰りたい第二の故郷ができました。

ただいま！と帰りたくなる場所が増えること、宝物のような日々







井野麻美／バリスタ

同行家族：夫・長男（7歳）・次男（4歳）

午前の仕事を終えて島の園に迎えに行くと、子どもたちは目を輝かせ走り回っていました。その日にあった出来事や感じたことを聞く午後は、私たち親にとっても豊かな時間でした。島の子どもたちと別れる際は「また夏休みに会おうなー！」と手を振り合い、ヨロン島の皆さんとの出会いは、子どもたちをぐっと成長させてくれました。日々忙しく働く中で、時に子どもたちに申し訳ない気持ちを感じることもありましたが、今回を機に“時間の使い方や角度を少し変えることのヒント”や、バランスの取り方を考えるきっかけになりました。家族の結びつきもチームの絆も深まった、ファミリーワーケーション。宝物のような日々です。